

平成31年度

# 石川県立大学入学試験概要

(一般入試・推薦入試)

石川県立大学

## I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

### （育てたい人材像）

石川県立大学は、「農・環境・食・バイオ」をキーワードとして、持続可能な社会の創造を目指しています。そのために、以下のような人材の育成を目的としています。

1. 人類が蓄積してきた農学の歴史的知識とともに、最新のバイオテクノロジーの知識を活かし、生物生産を目指す人材。
2. 生物多様性を維持し、人と自然が共生できる社会を築くことを目指す人材。
3. 食品生産、食品加工の場で、食の機能と安全を通じて人々の健康に寄与することを目指す人材。
4. コース制により、「農・環境・食・バイオ」を複合的に学び、6次産業化など、地域社会のニーズに応えることを目指す人材。

### （求める学生像）

そして、このような人材育成のために、以下のような学生を求めています。

1. 動植物・微生物などの生命現象の観察と実験、そして、その本質を探究することに興味がある学生。
2. 自然環境と生物資源およびそれらと人間活動とのかかわりに興味のある学生。
3. 生物生産およびその食への応用、食と健康とのかかわりに興味のある学生。
4. 「自ら考える力」と「未知の分野に対する強い探求心とチャレンジ精神」の旺盛な学生。

### （入学選抜の基本方針）

#### 【一般入試】

前期日程では、大学入試センター試験で課している科目について、高等学校での履修内容を十分に理解できているかを評価します。また、理系科目のみならず、文系科目についても将来の社会生活を思考するために必要な学力を求めます（5教科7科目）。後期日程では、より理科に関する知識、思考能力に重点を置いて評価します（3教科4科目）。個別学力試験では、理科（1科目）に重点を置いて、基礎知識だけでなく思考力や記述力を評価します。

#### 【推薦入試】

推薦入試では、理科（1科目）と英語について、高等学校で修得した基礎知識と思考力・記述力を評価します。併せて、生物資源環境学への修学意欲、本学志望の動機、高等学校での活動などを総合的に評価します。

#### 【私費外国人留学生特別選抜】

外国人留学生特別選抜では、大学での講義を受講するのに必要な日本語力、英語力、数学および理科の基礎学力、および生物資源環境学への修学意欲などを総合的に評価します。

#### 【3年次編入学入試】

3年次編入学では、英語と自然科学（2科目）について、専門分野の修学に必要な基礎知識と思考力・記述力を評価します。併せて面接では、生物資源環境学への修学意欲、研究活動への主体性や課題探究能力など、専門分野を学ぶ上で必要な資質を総合的に評価します。

以上

## II 募集人員

学 部	学 科	入学定員	募 集 人 員			
			一般入試		推薦入試	
			前期日程	後期日程	推薦入試A	推薦入試B
生物資源環境学部	生産科学科	40名	20名	12名	6名	2名
	環境科学科	40名	20名	12名	6名	2名
	食品科学科	40名	20名	12名	6名	2名
合 計		120名	60名	36名	18名	6名

※推薦入試A：出身学科を指定しない推薦入試

※推薦入試B：出身学科を指定する推薦入試

(詳細は、**推薦入試**の出願資格<P4>を参照してください。)

## III 一般入試

### 1 出願資格

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、平成31年度大学入試センター試験のうち、本学の指定する教科・科目を受験した者とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成31年3月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程[昭和26年文部省令第13号]による大学入学資格検定に合格した者を含む。)および平成31年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに18歳に達する者(出願前に資格審査を行うので、平成30年9月7日(金)までに本学教務学生課に連絡し、申請に必要な書類の指示を受けてください。大学入試センター試験を受験した者で新たに本学の受験を希望する者に限っては平成31年1月23日(水)までに連絡し、申請に必要な書類の指示を受けてください。)

### 2 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査および出願書類の内容を総合的に判定して行います。

### 3 試験科目等

区分	大学入試センター試験利用教科・科目	個別学力検査
前期日程	<b>【必須】</b> <b>国語</b> [国語] (近代以降の文章) <b>地理歴史、</b> [世界史A]、[世界史B]、[日本史A]、 <b>公民</b> [日本史B]、[地理A]、[地理B]、[現代社会]、 [倫理]、[政治・経済]、[倫理、政治・経済] } から1科目 <b>数学</b> [数学Ⅰ・数学A]、[数学Ⅱ・数学B] の2科目 <b>理科</b> [物理]、[化学]、[生物]、[地学] から2科目 <b>外国語</b> [英語] (リスニングを含む) [5教科7科目]	<b>理科 (90分)</b> [物理基礎・物理]、 [化学基礎・化学]、 [生物基礎・生物] の3科目から1科目
後期日程	<b>【必須】</b> <b>数学</b> [数学Ⅰ・数学A]、[数学Ⅱ・数学B] の2科目 <b>理科</b> [物理]、[化学]、[生物]、[地学] から1科目 <b>外国語</b> [英語] (リスニングを含む) [3教科4科目]	<b>理科 (90分)</b> [物理基礎・物理]、 [化学基礎・化学]、 [生物基礎・生物] の3科目から1科目

### 4 出願期間および選抜期日

出願期間	選抜期日	
平成31年 1月28日 (月) ～ 2月 6日 (水)	前期日程	平成31年 2月25日 (月)
	後期日程	平成31年 3月12日 (火)

### 5 学力検査等の配点

#### (1) 前期日程

	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	合計
大学入試センター試験	100	100	200	200	200	800
個別学力検査				200		200
合計	100	100	200	400	200	1000

(注1) 大学入試センター試験の「地理歴史、公民」で複数科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に採用します。

(注2) 大学入試センター試験の外国語は、英語[リスニングを含む]に限ります。

#### (2) 後期日程

	数学	理科	外国語	合計
大学入試センター試験	200	100	100	400
個別学力検査		100		100
合計	200	200	100	500

(注1) 大学入試センター試験の「理科」で複数科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を合否判定に採用します。

(注2) 大学入試センター試験の外国語は、英語[リスニングを含む]に限ります。

### 6 合格発表期日および入学手続期間

区分	合格発表期日	入学手続期間
前期日程	平成31年 3月 7日 (木)	平成31年 3月 8日 (金) ～ 3月15日 (金)
後期日程	平成31年 3月20日 (水)	平成31年 3月21日 (木) ～ 3月27日 (水)

## 7 出願等の留意事項

- (1) 前期日程試験、後期日程試験の両方に出願することができます。
- (2) 前期日程試験、後期日程試験ともに第2志望学科まで出願できます。ただし、第2志望学科の合否判定に用いる学力検査等の得点は、合計点に0.95を乗じたものとします。
- (3) 本学の前期日程試験に出願した場合、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の前期日程試験は併願できません。  
また、後期日程試験に出願した場合、他の国公立大学の後期日程試験は併願できません。
- (4) 他の国公立大学の推薦入学合格者は、その大学の定める推薦入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除いて、本学を受験しても合格者となることはできません。
- (5) 本学の前期日程試験に合格し入学手続を行った者は、他の国公立大学の後期日程試験および公立大学中期日程試験を受験しても合格者となることはできません。
- (6) 他の国公立大学の前期日程試験に合格し入学手続を行った者は、本学の後期日程試験を受験しても合格者となることはできません。

## 8 試験会場

野々市会場（石川県立大学）

〒921-8836 石川県野々市市末松1丁目308番地

名古屋会場（IMYビル）

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-7-14

IMYビル 4階・6階

※前期日程試験に限り、名古屋会場を設置します。

## 9 その他

入学手続者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

# IV 推薦入試

## 1 出願資格

### (1) 推薦入試A（出身学科を指定しない推薦入試）

次の①～④のすべてに該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者とします。

- ① 石川県内の高等学校を平成31年3月卒業見込みの者
- ② 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者
- ③ 高等学校において数学、理科および英語の基礎学力を身につけた者
- ④ 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者

※大学入試センター試験の受験は必要ありません。

### (2) 推薦入試B（出身学科を指定する推薦入試）

次の①～④のすべてに該当し、高等学校長が責任を持って推薦できる者とします。

- ① 次のいずれかに該当する者
  - i 石川県内の高等学校の農業に関する学科を平成31年3月卒業見込みの者
  - ii 石川県内の高等学校の総合学科等を平成31年3月卒業見込みの者で、農業に関する科目（注）を10単位以上修得見込みの者

（注）「農業に関する科目」として認める科目は、教科「農業」に属する科目（各高等学校の設定科目を含む）とします。

- ② 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者
- ③ 高等学校において数学、理科および英語の基礎学力を身につけた者
- ④ 合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者

※大学入試センター試験の受験は必要ありません。

## 2 推薦人数

各高等学校から推薦できる人数は、次のとおりとします。

- (1) 推薦入試A (出身学科を指定しない推薦入試)  
各学科2名以内
- (2) 推薦入試B (出身学科を指定する推薦入試)  
制限なし

## 3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、本学が実施する理科・英語の基礎学力検査および面接の試験結果ならびに出願書類の内容を総合的に判定して行います。

## 4 出題範囲等

実施教科等	実施科目等の出題範囲
理 科 (60分)	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物 の3科目から1科目を選択
外国語 (60分)	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ
面 接	修学意欲、本学志望の動機などについて質問します。

## 5 出願期間および選抜期日

出 願 期 間	選 抜 期 日
平成30年11月 1日 (木) ～11月 7日 (水)	平成30年11月17日 (土)

(注) 直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとし、土曜日および日曜日、祝日の受付は行いません。

## 6 配点

基礎学力検査		面 接	合 計
理 科	外国語		
100	100	100	300

(注) 面接の配点には出願書類の評価を含みます。

## 7 合格発表期日および入学手続期間

合 格 発 表 期 日	入 学 手 続 期 間
平成30年11月29日 (木)	平成30年11月30日 (金) ～ 12月 7日 (金)

## 8 出願等の留意事項

- (1) 国公立大学 (独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除き、本学を含む。) の推薦入試 (大学入試センター試験を課す場合、課さない場合の双方を含みます。) へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限ります。
- (2) 推薦入試Aと推薦入試Bの併願はできません。
- (3) 出願できるのは1つの学科のみです。
- (4) 推薦入試の志願者は、国公立大学との併願について、前期日程から1つ、後期日程から1つ、公立大学中期日程から1つの合計3つまでの大学・学部に出願することができます。ただし、本学の推薦入試に合格した者は、他の国公立大学に出願し受験しても合格者となることはできません (入学辞退を許可された場合を除きます)。

## 9 試験会場

石川県立大学

〒921-8836 石川県野々市市末松1丁目308番地

## V 学生募集要項の配布

この概要の内容は全て予定ですので、正式な内容は、学生募集要項で必ず確認してください。  
学生募集要項(一般入試)は、平成30年10月上旬から配付を行う予定です。請求方法については、  
本学のホームページ (<http://www.ishikawa-pu.ac.jp/>) または、  
// 携帯サイト (<http://daigaku.jc.jp/pref.ishikawa/>) をご覧いただくか、  
石川県立大学教務学生課までお問い合わせください。

学生募集要項(推薦入試)は、平成30年10月上旬までに石川県内各高等学校に配付の予定です。

<携帯電話サイトQRコード>



## VI 問い合わせ先

石川県立大学教務学生課

〒921-8836

石川県野々市市末松1丁目308番地

TEL 076-227-7408

FAX 076-227-7410

E-mail [kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp](mailto:kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp)

## 【平成31年度新入生からコース制を導入】

石川県立大学では、地域産業・社会を取り巻く環境の変化に対応した教育を提供するため、カリキュラムの見直しを行い、平成31年度からコース制を導入することといたしました。希望する進路に合ったコースを選択することで、必要な知識を体系的かつ効果的に学ぶことができるようになります。

入学試験は、これまでどおり学科ごとに行います。コースの選択については、2年時に希望するコースの確認（予備選択）を行い、3年時にコースを決定します。

※各コースの希望者数等の状況によって希望の再確認、調整をさせていただく場合があります。

(各コースの概要)

### 【生産科学科】

#### ＜生産科学コース＞

##### 生産・農業技術開発の基礎となる知識・技術を身につけた人材を育成

持続発展可能な農業の実現に向けて、植物、動物生産の基礎及び専門的知識を身に付け、農業生産の効率的なシステム化、農業経済・経営など、生物生産について広範囲の内容を体系的に学びます。生物資源を利用した新しい生産技術の開発及び普及に貢献できる人材、農業生産分野のリーダーとなる人材の育成を目指します。

#### ＜生産環境制御コース＞

##### 施設栽培における生産環境の制御・最適化、ICTの活用に対応できる人材を育成

生産科学のベースとなる専門科目に加え、植物生産システムにおける各種環境因子の制御・計測及び環境制御温室での栽培等について学びます。温室や植物工場等の制御環境下での栽培やICTを活用した高効率型農業に対応できる人材の育成を目指します。

#### ＜先端バイオコース＞

##### バイオ技術を研究開発で活用できる人材を育成

生産科学のベースとなる専門科目に加え、微生物、植物のゲノム情報の解析方法や遺伝子組み換え、その応用例等について学びます。バイオテクノロジーを活用した高品質の種苗開発、食品・医薬・化学品原料など有用成分の高効率生産等に対応できる人材の育成を目指します。

### [卒業後の主な進路]

- ・ 農業法人、農業関連企業
- ・ 施設園芸を行う農業法人
- ・ 植物工場での作物生産を行う企業
- ・ バイオ技術を活用する種苗開発企業や食品・医薬・化学企業
- ・ 国家公務員、地方公務員
- ・ 中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科、農業）
- ・ 大学院進学



## 【環境科学科】

### <環境科学コース>

#### 自然に関する広範な視点を持った環境技術者を育成

土、水、大気、生物などの知識をベースに、自然環境を守りながら農業生産環境や生活環境を整備していくための理論と技術等について学びます。環境に関する幅広い知識により安全で潤いのある快適な地域社会の実現に貢献できる人材の育成を目指します。

### <里山活性化コース>

#### 自然を活用した地域活性化・社会環境整備に携わる人材を育成

環境科学のベースとなる専門科目に加え、里山里海の景観や資源を活用した地域活性化や、小水力、地中熱などの自然エネルギーの活用、獣害対策、自然災害に強い里山の整備・保全等について学びます。生態系に配慮した自然の利活用及び地域振興に貢献できる人材の育成を目指します。

#### [卒業後の主な進路]

- ・ 環境設備等の関連企業
- ・ 環境、開発コンサルタント
- ・ 環境や農業土木関連の企業
- ・ 国家公務員、地方公務員
- ・ 中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科、農業）
- ・ 大学院進学

## 【食品科学科】

### <食品科学コース>

#### 食品に関する幅広い知識・技術を身につけた人材を育成

食品の加工・流通・安全性や機能性、製造・加工など多岐にわたる食品の知識・技術について学びます。食の安全性が求められる時代に、食品業界で活躍できる人材の育成を目指します。

### <6次産業化コース>

#### 生産、加工からマーケティングまで総合的な知識を身に付けた人材を育成】

食品科学のベースとなる専門科目に加え、商品やサービスの企画・設計・開発に必要な基礎知識について学び、農場実習等も行います。食分野において新たなビジネスの開拓に貢献できる人材の育成を目指します。

#### [卒業後の主な進路]

- ・ 食品の製造、分析、安全及び流通等に関わる企業
- ・ 製菓企業、化粧品企業
- ・ 農業生産に参入する食品関連企業
- ・ 食品加工、加工食品の販売に参入する農業法人等
- ・ 国家公務員、地方公務員
- ・ 中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科、農業）
- ・ 大学院進学